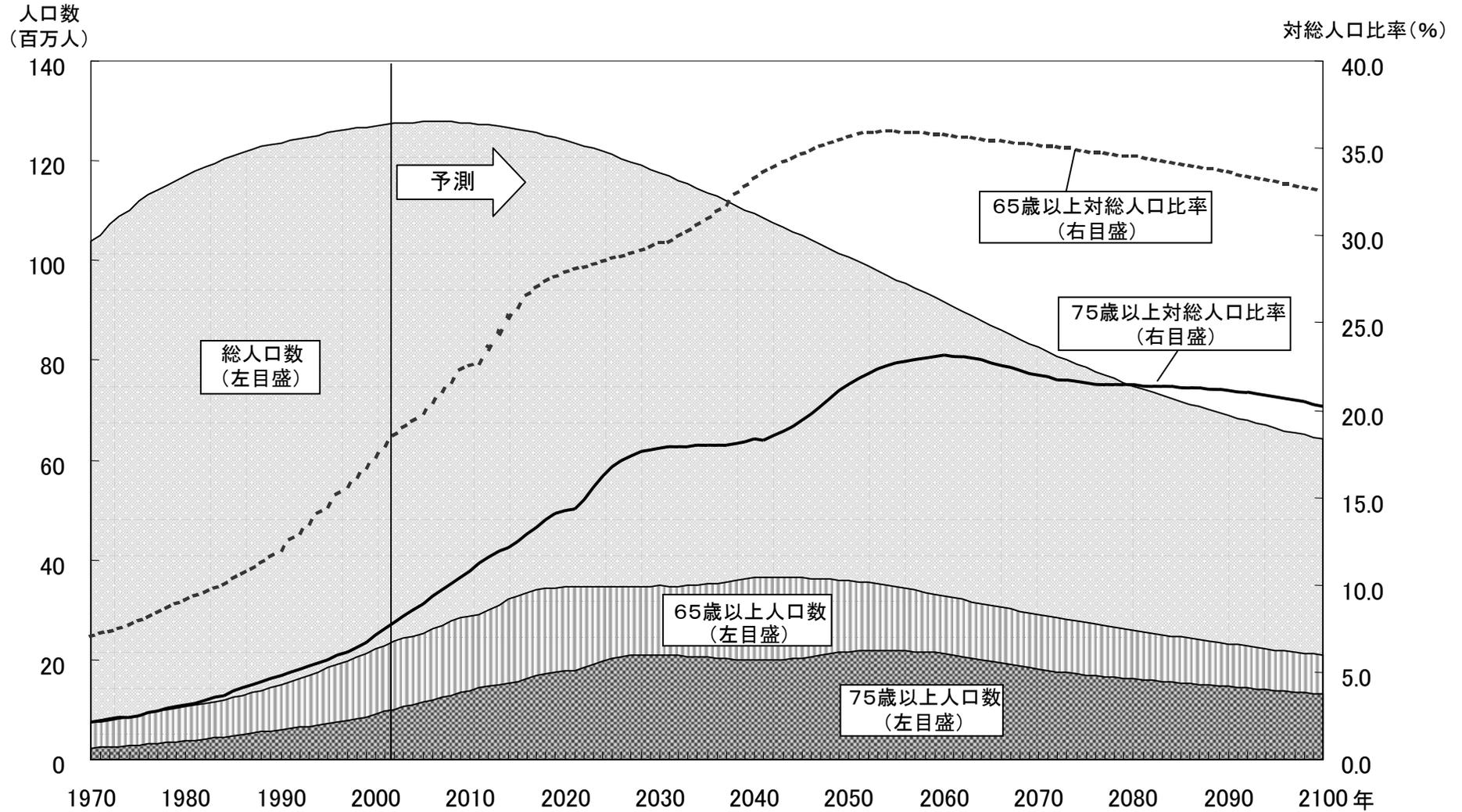

生命保険事業の現状と課題

平成 16年 1月 16日
第一生命保険相互会社
代表取締役専務 齋藤 勝利

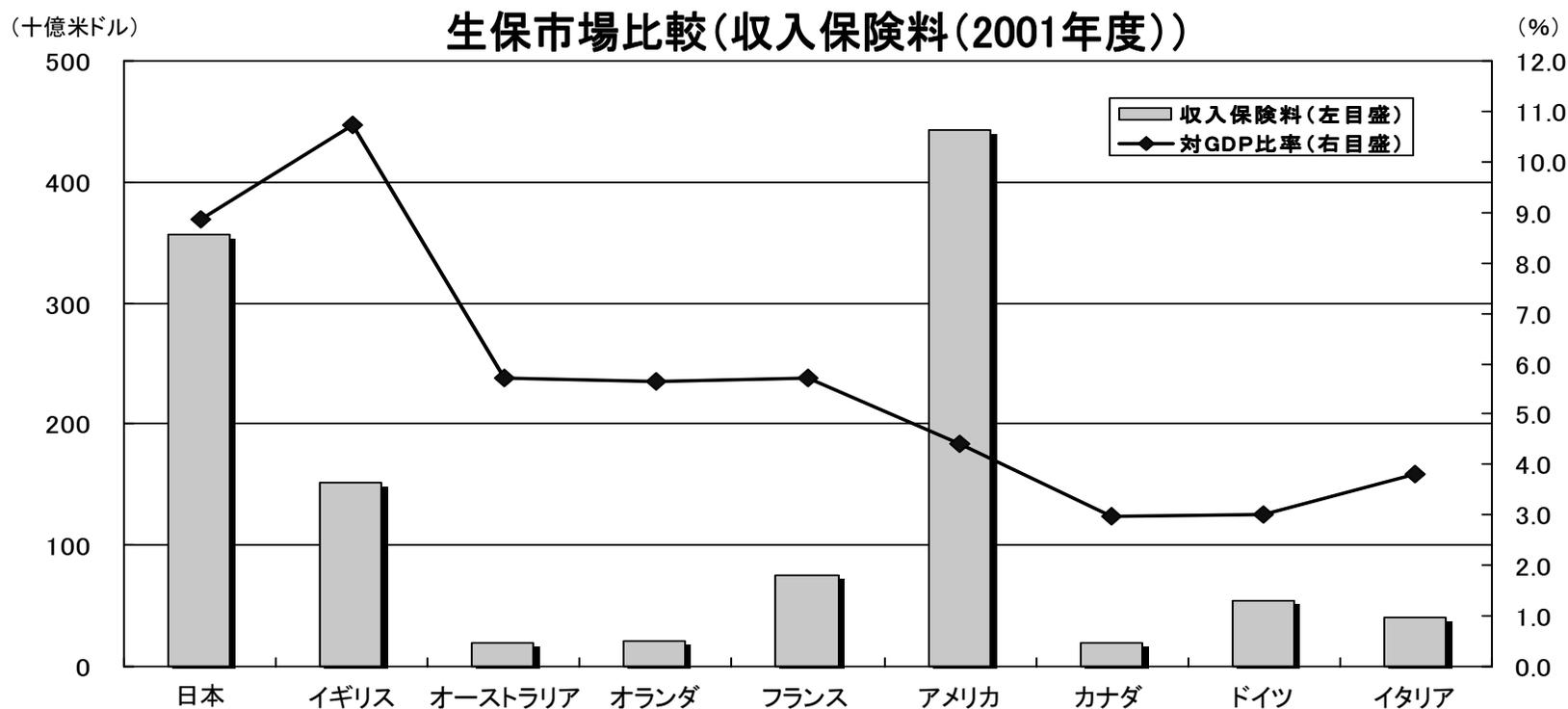
高齢化の進展



(出所) 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(2002年1月推計)」、総務省統計局「国勢調査報告」(平成13年10月1日現在推計人口)より作成

生命保険市場の成熟化

- ◆日本は世界最大規模の生命保険普及国
- ◆国民が1年間に支払う生命保険料は世界最大規模 (GDP比でも8.8%)



(出所) 生命保険ファクトブック2003

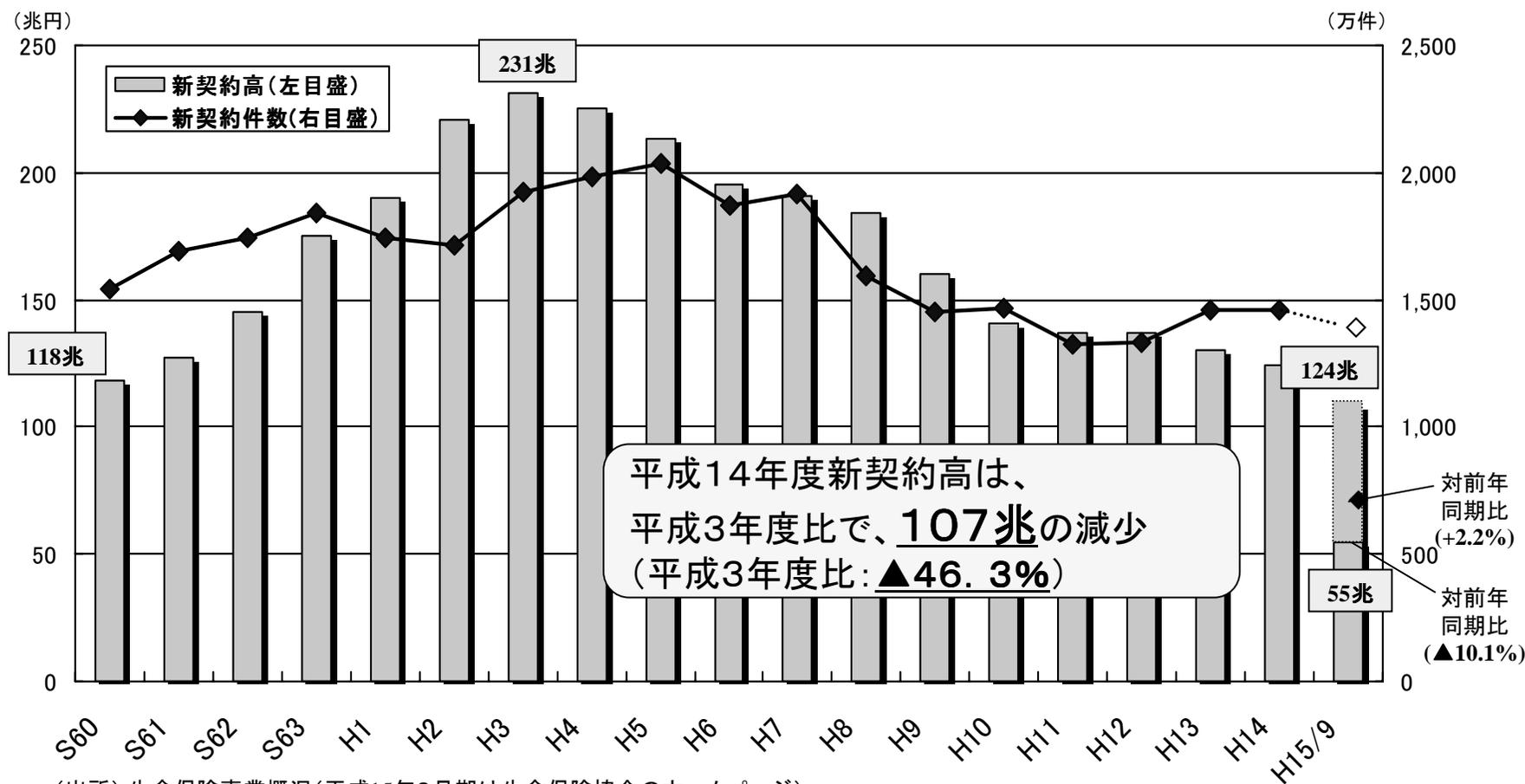
保険金等の支払額の実績(平成13年度)

	①民間生命保険※ ¹ (①/②)	②社会保険※ ²
遺族保障	死亡保険金 3兆4,110億円 (74%)	遺族 4兆6,118億円
医療保障	入院・手術給付金 8,118億円 (6%)	保健医療 14兆7,392億円
介護保障	(不明) (-)	高齢(介護保険) 4兆1,228億円
老後(生存)保障	年金・満期保険金 6兆3,360億円 (18%)	高齢(除く介護保険) 34兆3,440億円
災害・障害等	災害・高度障害保険金・障害給付金 2,806億円 (10%)	障害・労働災害 2兆6,796億円
その他	3兆4,680億円 (-)	失業 2兆7,636億円
合計	14兆3,074億円 (23%)	63兆2,609億円

※1 民間生命保険から支払われた保険金・給付金・年金
(出所) 生命保険文化センター「生命保険ファクトブック」

※2 合計値は、「制度別社会保障給付費」の医療保険・介護保険・年金保険・雇用保険等・業務災害補償の給付費(生活保護、老人保健等は除く)
機能別の給付額は、「ILO第19次社会保障費用調査による社会保障給付費」から推定
(出所) 国立社会保障・人口問題研究所HP「社会保障給付費の概要について」(平成13年度版)

新契約高・新契約件数(全社:個人保険+個人年金)

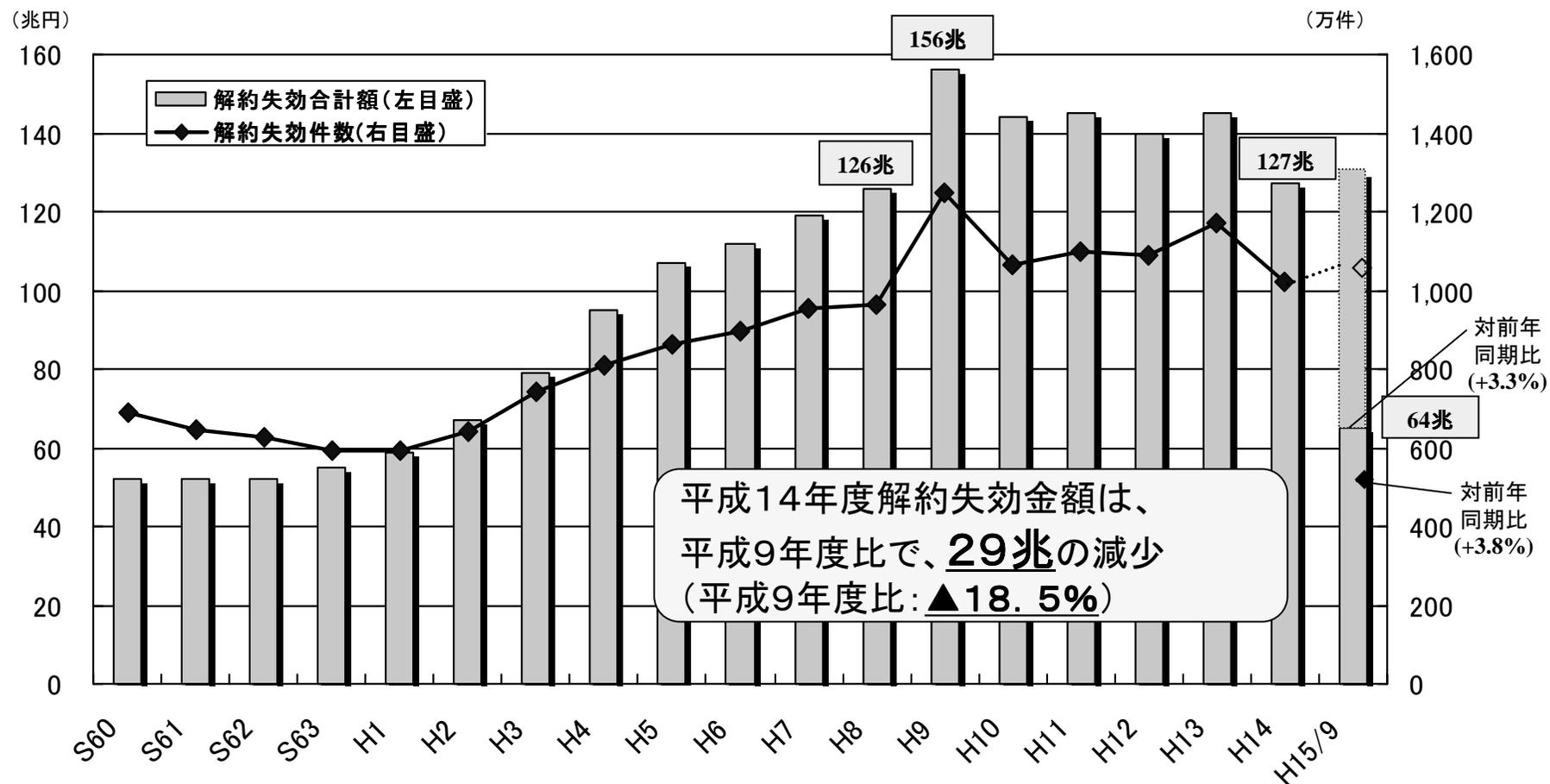


(出所) 生命保険事業概況(平成15年9月期は生命保険協会のホームページ)

※1 新契約件数には、「転換による増加件数」を含む

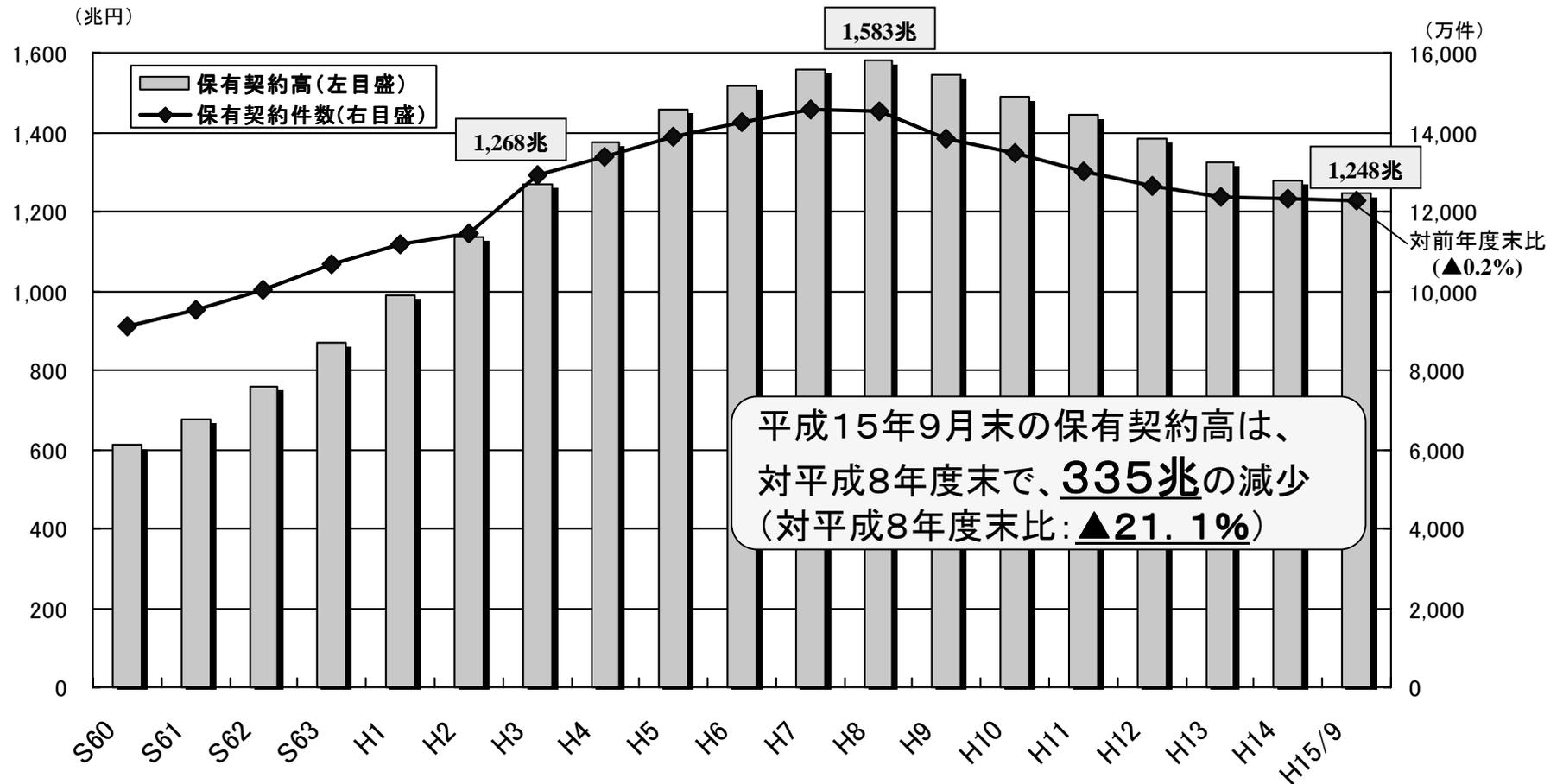
※2 平成15年9月期のグラフの点線部分は、便宜上、同期実績の値を二倍したもの

解約失効金額・解約失効件数(全社:個人保険+個人年金)



(出所) 生命保険事業概況(平成15年9月期は生命保険協会のホームページ)
 ※ 平成15年9月期のグラフの点線部分は、便宜上、同期実績の値を二倍したもの

保有契約高・保有契約件数(全社:個人保険+個人年金)



(出所) 生命保険事業概況(平成15年9月期は生命保険協会のホームページ)

大手10社の決算概況

(単位: 億円)

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	増減額	増減率
基礎利益 ^{※1}	20,911	20,742	19,994	▲ 748	▲ 3.6%
キャピタル損益 ^{※2}	574	▲ 14,732	▲ 15,823	▲ 1,091	
臨時損益	▲ 3,668	▲ 353	1,215	+1,568	
経常利益	17,817	5,657	5,386	▲ 271	▲ 4.8%
特別損益 ^{※3}	▲ 8,194	▲ 2,302	▲ 1,693	+609	
租税等(法人税等調整額含む)	(▲1,825)	(▲22)	(▲149)	(▲1,828)	
当期剰余	7,797	3,332	3,544	+212	+6.4%
逆ざや額	13,142	12,497	11,670	▲ 827	▲ 6.6%
実質純資産	152,151	136,584	114,619	▲ 21,965	▲ 16.1%
日経平均株価(年度末値)	12,999	11,024	7,972		

平成15年度 上半期	増減額	増減率
9,651	+147	+1.5%
▲ 2,039	+4,612	
▲ 1,463	▲ 1,202	
6,149	+3,558	+57.9%
▲ 976	▲ 404	
(▲1,050)	(▲1,026)	
4,123	+2,128	+51.6%
133,882	+12,743	+10.5%
10,219		

※1 1年間の保険本業の収益力を表す指標。一般事業会社の営業利益や銀行の業務純益に近いもの

※2 有価証券等の価格変動性資産の売却損益や評価損益

※3 不動産動産等処分損益等が含まれる

※4 各社決算プレス・東洋経済生命保険特集号より作成

※5 決算概況は大手10社の数値を記載

※6 増減額・増減率は前年度比(平成15年度上半期は前年度同期比)

逆ざや額=(基礎利益上の運用収支等の利回り-平均予定利率)
× 一般勘定責任準備金

生命保険会社の資産・負債等の状況

(単位:億円)

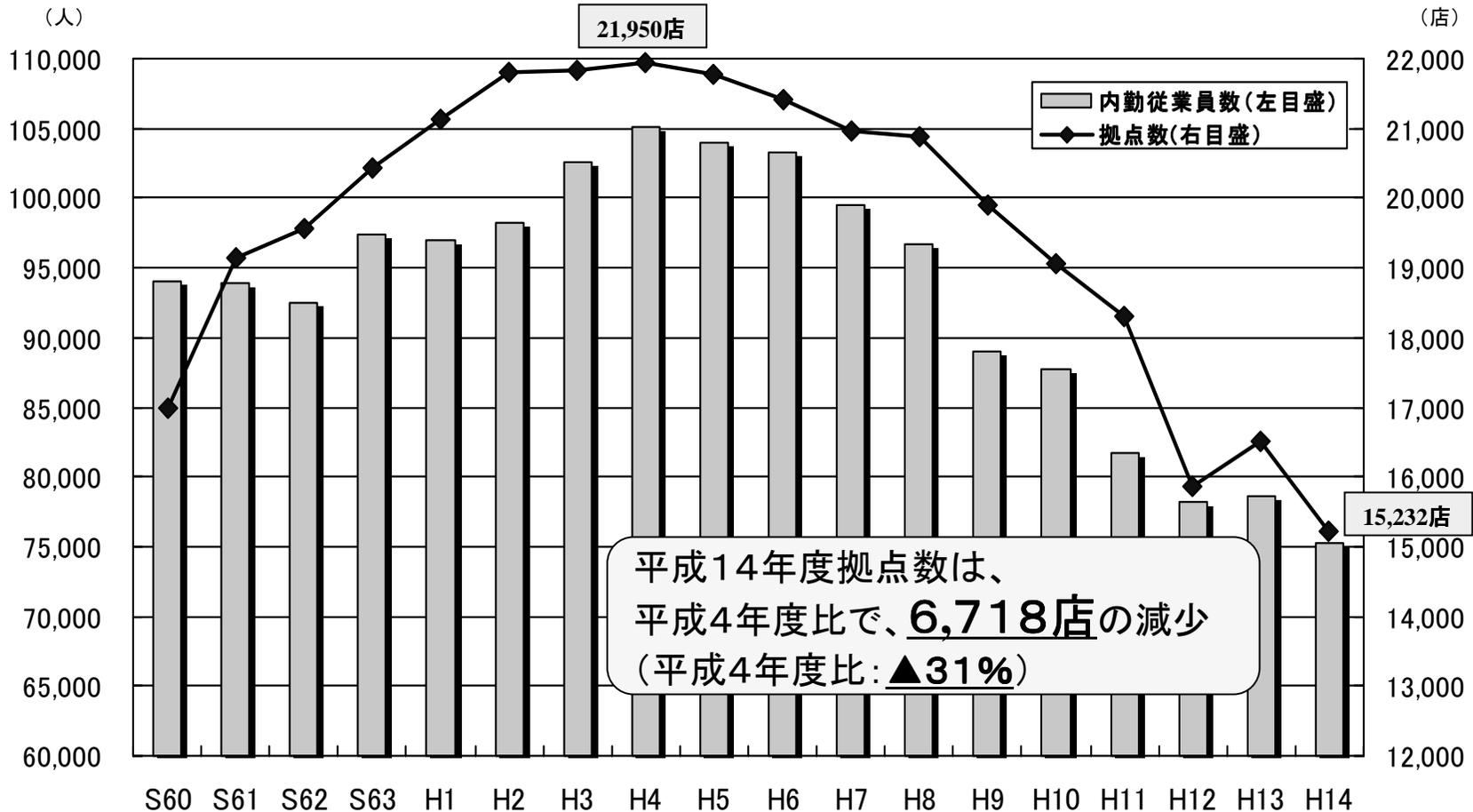
	平成12年度		平成13年度		平成14年度		平成15年度上半期	
		占率(%)		占率(%)		占率(%)		占率(%)
現預金等	177,793	9.3	131,195	7.1	117,064	6.5	111,136	6.1
有価証券	1,104,148	57.6	1,110,206	60.2	1,104,941	61.4	1,150,648	63.0
うち国内債券	571,043	29.8	579,361	31.4	613,596	34.1	595,883	32.6
うち株式	294,673	15.4	247,074	13.4	172,285	9.6	201,580	11.0
うち外国証券	219,101	11.4	264,195	14.3	289,656	16.1	317,976	17.4
貸付金	499,973	26.1	470,561	25.5	444,683	24.7	434,401	23.8
不動産・動産	82,776	4.3	80,816	4.4	76,858	4.3	78,566	4.3
その他資産	52,615	2.7	50,929	2.8	54,763	3.0	51,582	2.8
資産	1,917,306	100.0	1,843,709	100.0	1,798,311	100.0	1,826,334	100.0

保険契約準備金	1,730,762	90.3	1,669,710	90.6	1,650,427	91.8	1,658,563	90.8
その他負債	125,968	6.6	103,288	5.6	92,336	5.1	93,466	5.1
負債	1,856,731	96.8	1,772,999	96.2	1,742,765	96.9	1,752,030	95.9
基金又は資本金 [※]	21,118	1.1	25,256	1.4	29,181	1.6	30,369	1.7
その他資本	39,456	2.1	45,454	2.5	26,365	1.5	43,935	2.4
資本	60,575	3.2	70,710	3.8	55,546	3.1	74,303	4.1
負債・資本	1,917,306	100.0	1,843,709	100.0	1,798,311	100.0	1,826,334	100.0

(出所)生命保険協会のホームページより作成

※ 「基金又は資本金」は「基金償却積立金」を含む

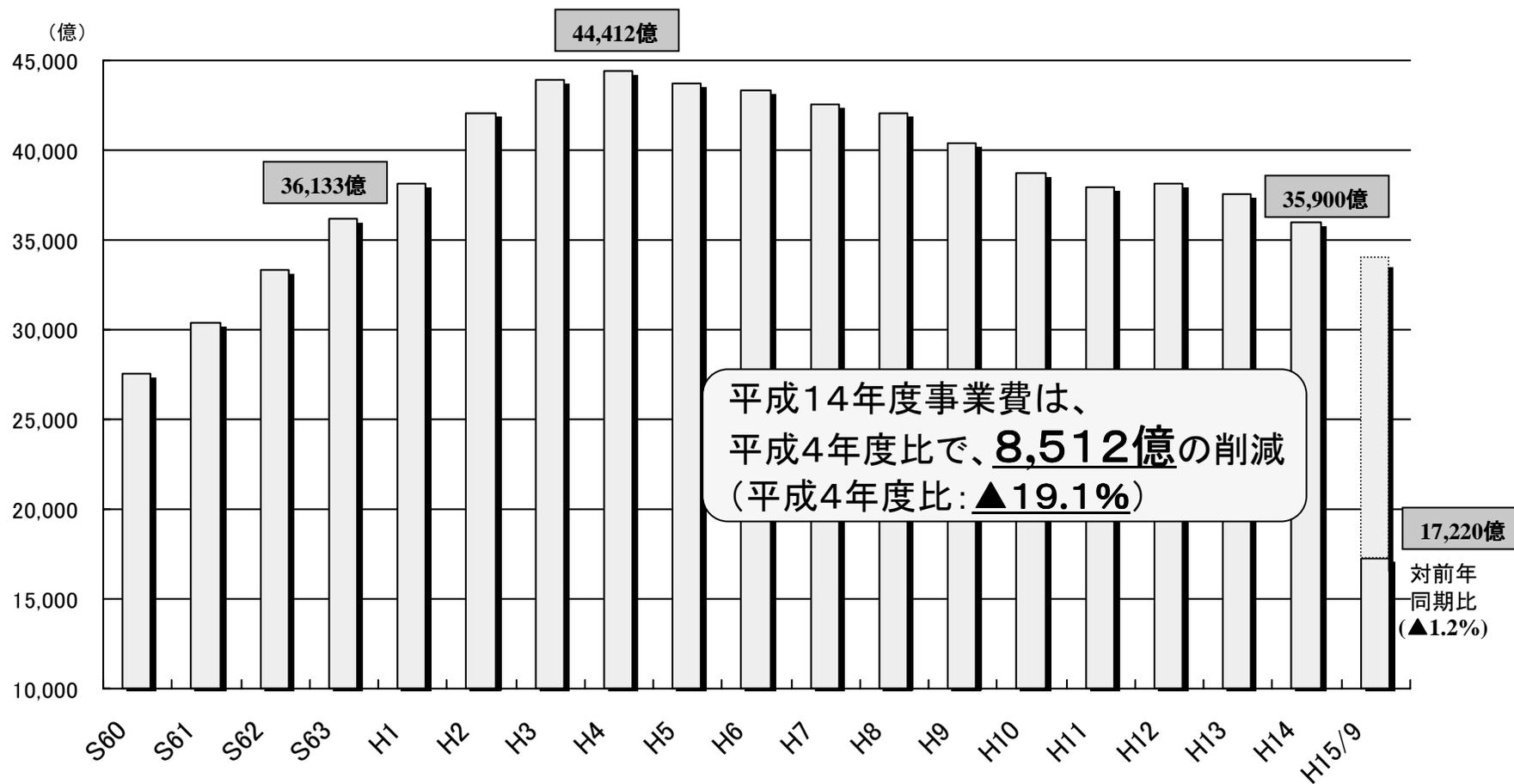
内勤従業員数・営業拠点数(全社)



平成14年度拠点数は、
平成4年度比で、**6,718店**の減少
(平成4年度比: **▲31%**)

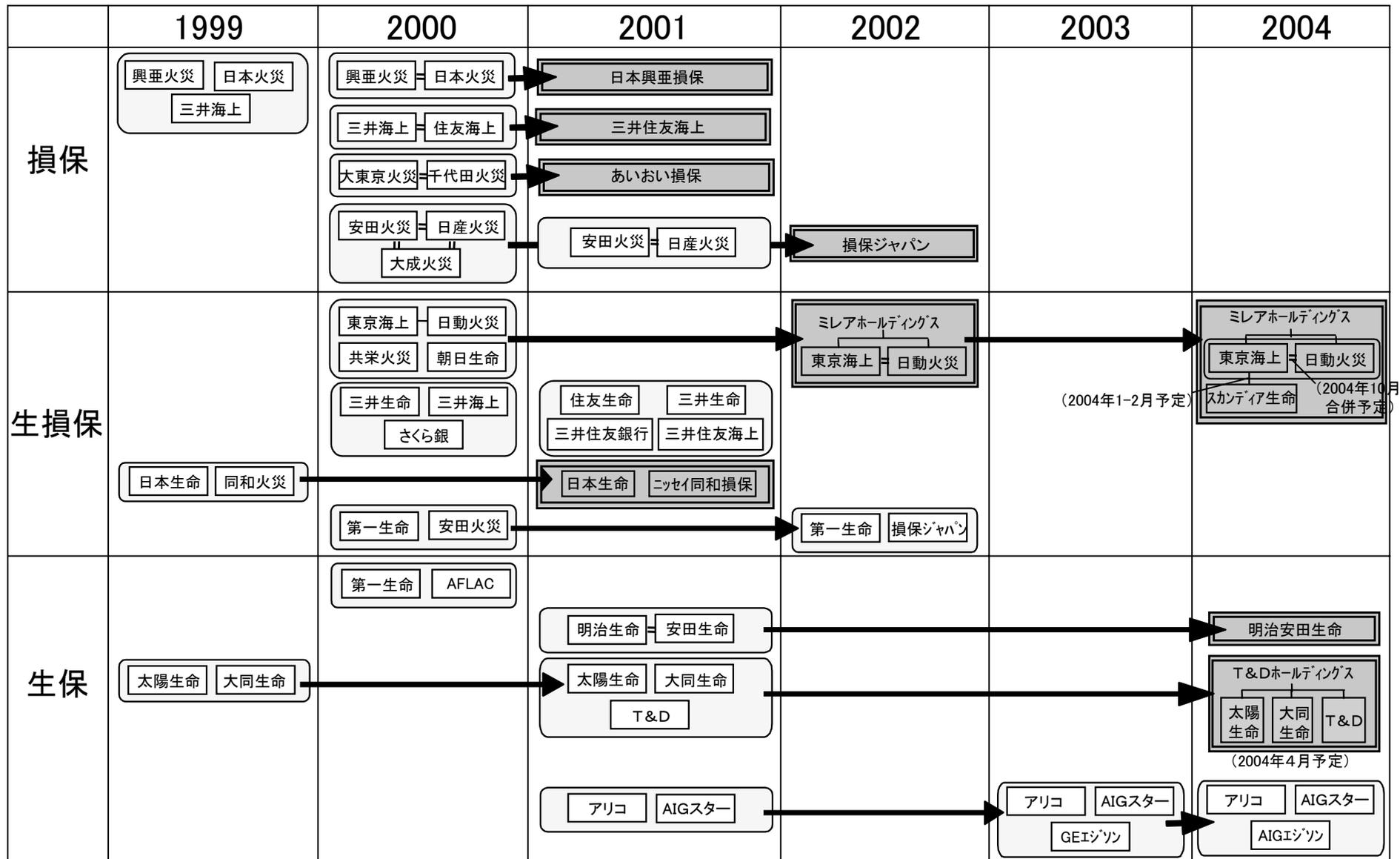
(出所) インシュランス生命保険統計号
※ 拠点数は、支社数+支部数+営業所数の合計

事業費(全社)



(出所) 生命保険事業概況(平成15年9月期は生命保険協会のホームページ)
 ※ 平成15年9月期のグラフの点線部分は、便宜上、同期実績の値を二倍したもの

提携・再編(経緯)と株式会社化



株式会社化の動き 2002年4月:大同生命、2003年4月:太陽生命、2004年4月:三井生命(予定)

今後の生命保険市場について

◆家庭内で重視される経済的な準備項目の第1位は、男女ともに「自分が入院した場合の準備」

(男性)

順位	重視する経済的準備項目	回答率 (%)
1位	自分が入院した場合の準備	51.3
2位	自分が万一の際の準備	48.4
3位	自分や配偶者の老後資金の準備	25.9
4位	自分の介護資金の準備	23.5
5位	子供の教育資金の準備	17.2

(女性)

順位	重視する経済的準備項目	回答率 (%)
1位	自分が入院した場合の準備	40.1
2位	配偶者が入院した場合の準備	33.6
3位	配偶者が万一の際の準備	33.5
4位	自分や配偶者の老後資金の準備	25.7
5位	自分の介護資金の準備	25.6

(出所)生命保険文化センター「生活保障に関する調査(平成13年度)」

※ 15項目中3項目以内での複数回答